

名古屋例会開催のお知らせ

2019年第2回名古屋例会を、下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

日 時 2019年9月22日(日) 午前10時～午後5時
場 所 三重県環境学習情報センター 1階研修室(四日市市市桜町3684-11) 東名阪「四日市IC」から車で約15分。駐車場(無料)あり。



当日の内容

- 1 情報交換, 同定など(午前10時～12時)
- 2 講演(午後1時～3時30分)
 - (1) 土岐和多瑠:「ニホンホホビロコメツキモドキと酵母の共生関係」
 - (2) 生川 展行:「県別甲虫目録から分かってきたこと」
- 3 一人1話など(午後3時30分～5時)
- 4 その他
 - (1) 車で来られない方は、近鉄湯ノ山線「大羽根園駅」から、車での乗り合わせの手配をしますので、下記までご連絡ください。
世話人(生川展行 tritoma@mecha.ne.jp Tel. 059-374-1054)
 - (2) 大会終了後は、懇親会も開催します。
 - (3) 昼食や飲物は必ず持参してください。

東京例会開催のお知らせ

2019年第2回例会を下記の通り開催いたします。奮ってご参加ください。

日時: 9月21日(土曜日) 10:00～16:30
場所: 国立科学博物館附属自然教育園講義室(通用門に入って左手の建物)
〔交通〕 JR山手線「目黒」駅東口より目黒通り徒歩7分
または、東京メトロ南北線/都営三田線「白金台」駅出口1より目黒通り徒歩4分



当日の企画

1. 談話会
午前10時から午後1時までは、自由な歓談の時間(ミニ同定会, 蘇虫会など)として会場を開放いたします。ぜひ、お気軽にご参加ください。
2. 話題提供: 午後1時～
1 題目 上村佳孝(慶應義塾大学・生物学教室)「昆虫の交尾器形態はなぜ多様化するのか?」要旨: 交尾をおこなう動物では、交尾器の形の進化は速い。したがって、特に種数の多い昆虫類—とりわけ甲虫類—では、交尾器の観察は同定・記載に欠かせない作業である。「体より長い交尾器」, 「メスを傷つけるオス交尾器」, そして、「メスのペニス」など、演者がこれまで関わってきた研究事例を紹介しながら、交尾器形態が